



## 12回大会を終えて

岡山理科大学フォーミュラプロジェクト  
Okayama University of Science Formula Project  
ja-jp.facebook.com/OUSFP



### 今回の総合結果・部門賞

●総合 66位

### Profile チーム紹介・今までの活動

岡山理科大学フォーミュラプロジェクトは今年で参戦4年目を迎えました。しかし去年、一昨年と2年連続で車検を通過することができず悔しい思いをしてきました。今年はメンバー一同が「車検を通過し、なんとしても動的審査に出場する」という思いを胸に一丸となって取り組んで来ました。

### Team-member チームメンバー

#### 河野 慎平 (CP)

金枝 敏明 (FA)、鳥屋尾 欣也、三原 遼祐、谷口 諒敏、兒島 弘訓、永井 大貴、原 明慶、小林 亮太、周 蕊、仲川 昂希、初田 敏、原 聡史、比羅岡 聖也、山田 達郎、松田 勇太郎、和田 龍一、室山 遼、安田 真一、渡部 翔万

### Sponsors スポンサーリスト

川崎重工業、ソリッドワークス・ジャパン、ミスミ、岡山国際サーキット、ダイハツ工業、THK、NTN、日信工業、F.C.C.、ニッポンレンタカー中国、淵本重工業、白神重工

### Presentation プレゼンテーション

マシン名: OUSFP-04

我々岡山理科大学フォーミュラプロジェクトは今年で参戦4年目を迎えました。しかしながら昨年、一昨年と2年連続で車検を通過することができていません。そこで今年は「シンプル・イズ・ベスト」をコンセプトにマシンの設計を行いました。

過去の設計を根本的に見直し、よりシンプルで信頼性のあるマシンを作ることで、まずは車検を通過し動的審査全種目完走を目標にチーム一丸となって取り組んできました。特に足まわりの設計はFJ1600の構造を参考としました。アップライトについては昨年まではアルミ(A6061)の切削加工により製作していました。しかし設計上の大きな問題があったためにまず材料をアルミから鋼材S45Cに変更し、ベアリングカラーに角パイプを溶接するといった基本的構造に立ち返ることで問題を解決しました。またパワートレインは川崎重工製KLX450Rのエンジンを採用しました。調節が容易であることからメンテナンス性を考慮した結果、キャブレターを採用しました。またキャブレターはスロットルボディと燃料噴射装置を一体化することができ、構造を簡素化できる点も大きな利点でした。

今大会では残念ながら総合成績66位という結果になりましたが、大会期間中に得たことは数多く意義のある大会でした。これからは新たなメンバーで来年に向けさらに邁進して参ります。

### Participation report 参戦レポート

今年はメンバー全員が「車検を通過し、なんとしても動的審査に出場する」という強い思いをもって大会に臨みました。

1日目はピット設営を行いました。2日目はデザイン審査、コスト審査、プレゼンテーション審査がありました。デザイン審査では「シンプル・イズ・ベスト」というコンセプトが実際の車両に反映されていることを評価して頂きました。審査員の方からは、来年以降は車両特性や設計時の裏付けデータを具体的な数値で示せるよう改善することを指摘して頂きました。コスト審査やプレゼンテーション審査でも同様に裏付けを数値で示すことの大切さを学びました。午後には1回目の車検を受けました。複数個所の指摘を受け、その対策を立て2日目を終えました。

3日目の午前には指摘箇所の全てを修正し、再車検に臨みました。指摘された点は解決しましたが、新たに燃料タンクの位置が主要構造体に完全に収まっていないことが発覚し、さらに修正作業に入りました。4日目の午後にチルト試験に合格。ようやく技術車検に受かりました。5日目の午前には騒音とブレーキ試験を受け1回で合格し、ようやく悲願の車検通過を果たしました。しかし修正作業に時間がかかり、動的審査に出場することはできませんでした。

今回我々は、大会までの入念な準備がいかに大切で重要であるかを痛感しました。また大会を通じてお世話になりましたスポンサー様を初め、大会関係者様、学校関係者様、ならびに最後の最後まで協力していただいた車検審査員の方、本当にありがとうございました。

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/12th/movie/62.html>